

平成23年度 静岡市・大学連携事業

市民大学リレー講座

文明と環境

～人類社会が向かうべき未来とは～

わたしたちの便利で快適な生活の中に横たわる、
さまざまな環境問題を市内5大学の専門家がそれぞれの分野から講義します。
モンゴルの「環境」観、気候変動、遺伝子組み換え、そしてエネルギー問題。
私たちが向かうべき未来を見つめ考えましょう。

第1回

9月10日 土

静岡英和学院大学 飯山 昌弘教授
(人間社会学部人間社会学科・法社会学、科学哲学)
「科学文明、資本主義、そして環境問題」

第2回

9月24日 土

静岡大学 楊海英(大野 旭)教授
(人文学部社会学科・文化人類学)
「モンゴルの遊牧文明と環境」

第3回

10月8日 土

東海大学
植原 量行准教授
(海洋学部海洋地球科学科・海洋物理学)
「海と気候変動」

第4回

10月15日 土

静岡県立大学
内藤 博敬助教
(環境科学研究所・微生物学)
「遺伝子組み換えと環境」

第5回

10月22日 土

常葉学園大学
長洲 南海男教授
(教育学部・理科教育学、エネルギー環境教育論)
「エネルギー環境問題を考える」

定員 どなたでも 80人

会場 アイセル21
(静岡市葵区東草深町3番18号)

時間 午後1時30分から3時30分

受講料 無料

申込方法 ハガキまたはFAXに①「市民大学リレー講座」、
②〒住所、③氏名、④電話番号、⑤年代を明記の上、
市役所生涯学習推進課へお申込みください。

締切日 8月24日(水) 締切日必着、多数の場合抽選

申込先 〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1 生涯学習推進課 FAX.054-221-1758

主催/静岡英和学院大学/静岡県立大学/静岡大学/東海大学/常葉学園大学(50音順)/静岡市
問い合わせ先/静岡市生涯学習推進課 TEL.054-221-1207

裏面も
ご確認ください

第1回

9月10日(日)

静岡英和学院大学 飯山 昌弘教授 (人間社会学部)

「科学文明、資本主義、そして環境問題」



科学という近代の主要戦略と成長を宿命づけられた資本主義経済の中に横たわる、今日の環境問題への道程を平易に説く。近代の人類は、科学を武器に地下に眠る化石燃料をほんの200年の間に掘り起こし、科学の「法則」の外にある様々な事象を切り捨て、「市場」に現れない様々な価値を無視したまま、大量生産、大量消費による豊かさを追求してきた。

この講座では、エネルギー問題、地球温暖化、等をはじめとした個別の問題の検討と併せて、今後の人類社会が向うべき方向性を示したい。

第2回

9月24日(日)

静岡大学 楊海英(大野 旭)教授 (人文学部)

「モンゴルの遊牧文明と環境」



環境をめぐる考え方は、時代や文化に応じて異なってくる。この講座では、モンゴルの遊牧文明について説明しながら、西欧とも日本とも異なったその「環境」観を明らかにし、環境問題を考えていく手がかりを探っていく。

第3回

10月8日(日)

東海大学 植原 量行准教授 (海洋学部)

「海と気候変動」



気候とは一般に長期的な気象の平均状態を指す。気候変動は、したがって、平均的な状態が長い時間でゆっくり変化することと言えるだろう。このような気候はどのように形成されるのだろうか？ この講座では、気候の形成に決定的な役割を担っている海の仕組みについて考える。

第4回

10月15日(日)

静岡県立大学 内藤 博敬助教 (環境科学研究所)

「遺伝子組み換えと環境」



バイオテクノロジーの進歩により、我々の生活は飛躍的な発展を遂げた。しかし、食品や医療などの幅広い分野で用いられている“遺伝子組み換え技術”は、その名称から一方で市民の不安要素として報じられることも少なくない。遺伝子組み換え技術は人類や環境にとって必要かつ安全と言えるのか、そもそも遺伝子組み換え産物の問題は何なのだろうか。

この講座では、「遺伝子組み換え技術」の実際について講義をするとともに、利点や成果、さらにはこれまでに問題となった事例から欠点や環境への影響について、国内外の規制や指針を交えながら考えていく。

第5回

10月22日(日)

常葉学園大学 長洲 南海男教授 (教育学部)

「エネルギー環境問題を考える」



「エネルギー環境問題」について、地球温暖化への対応や、ESD(持続可能な発展のための教育)の考え方も踏まえ、従来の唯一正解指向の教育を転換して、正解の無いイシュー指向の教育の観点より、私たちはどのような生活・行動をとるべきか、欧米の動向も踏まえて考えていく。特に今回の3.11を境に「想定内」から「想定外」のエネルギー環境教育をどのように考えていくかについても論じる。